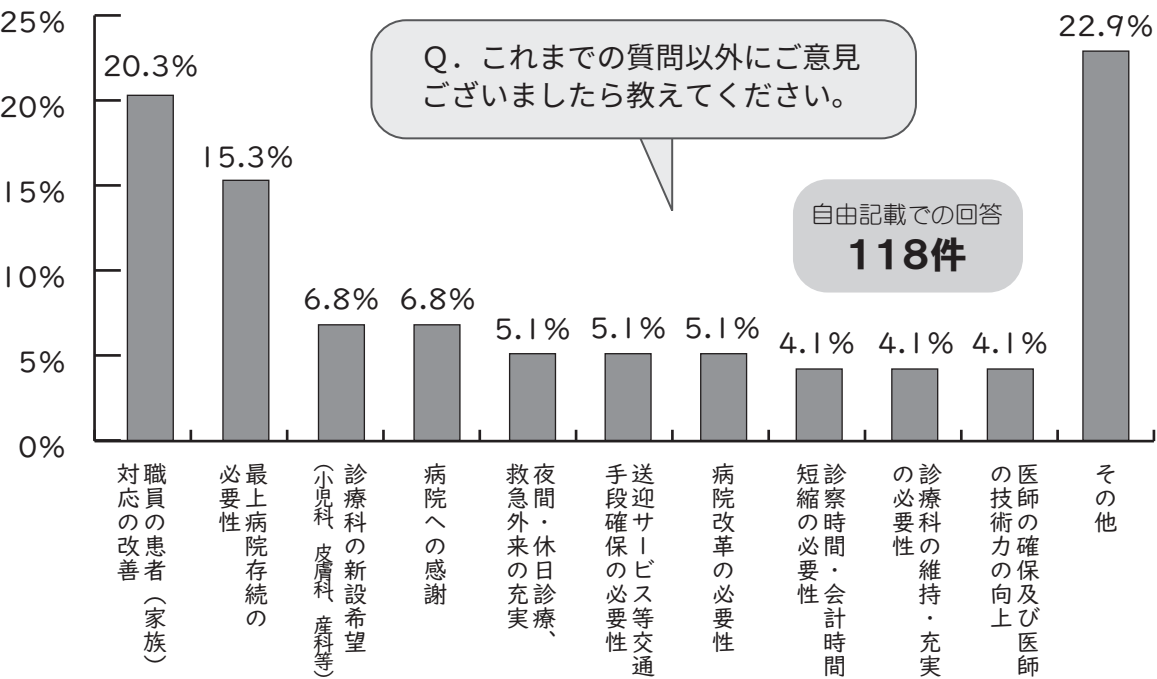


町民意識調査 ② 「病院に求めるもの」



町民アンケートの最後は、回答者から自由に記述していただいたご意見を紹介します。自由記述を上記の棒グラフの項目に分類しました。回答数は118件です。一番多かった項目は「患者様に対する職員の対応」で2割のご意見をいただきました。また、病院の必要性についても「近くにあつて助かる」や「救急医療は続けてほしい」などの大変ありがたい回答もいただいています。

一方で、通院するための交通の便について、不安を感じているご意見も目立ちました。「遠くの病院へ運転していくことが出来なくなった場合は心配」などや、地域公共交通に対する何らかの対応を求めるご意見もありました。関連する回答では「最上病院が無くなり、新庄市内の病院に入院となると患者も家族も困る。お金はかかっても町から病院は無くさないでほしい」といった貴重なご意見もいただいています。

その他では、分類できない回答が27件ありました。ご回答いただきました町民の皆様に改めて御礼申し上げ、経営強化プラン策定の参考にさせていただきたいと思えます。貴重なご意見等お聞かせいただきました大変ありがとうございます。

近隣の医療機関や介護事業所が求めるもの

地域医療は、最上病院だけで行なうものではなく、近隣の医療機関や介護施設と密接な連携をはかることにより、円滑に進めることができます。2月の下旬に実施した、外部の医療機関・施設に対するアンケートでは、これらの事業所が最上病院に期待する機能、求める役割、今後の方向性についてお聞きしました。

20個の設問に対して、大変貴重なご意見等も含まれていました。ご回答いただいた事業所の方々には紙面を通して厚く御礼申し上げます。

次のページでは、最上病院に求める役割と今後の病院としての機能についてのご意見をご紹介します。

外部アンケートを実施

▽調査数 12施設
▽回収率 100%
▽回答数 12施設

・質問数 全20項目

・調査対象 本町内及び新庄市内の連携医療機関、本町内の介護事業所

計12施設



特集 第2回

病院に求めるもの



開設から68年目を迎える最上病院は、町民の健康を守る「まちの病院」として、運営しています。前回のシリーズでは、人口減少、少子高齢化の影響で病院を利用する患者様の減少や、医療従事者などのスタッフ不足、町一般会計からの負担金増等の、様々な問題に直面している現状をお伝えしました。今回は町民アンケートの続きと、外部の医療機関、介護施設が最上病院に求めているものをお伝えします。

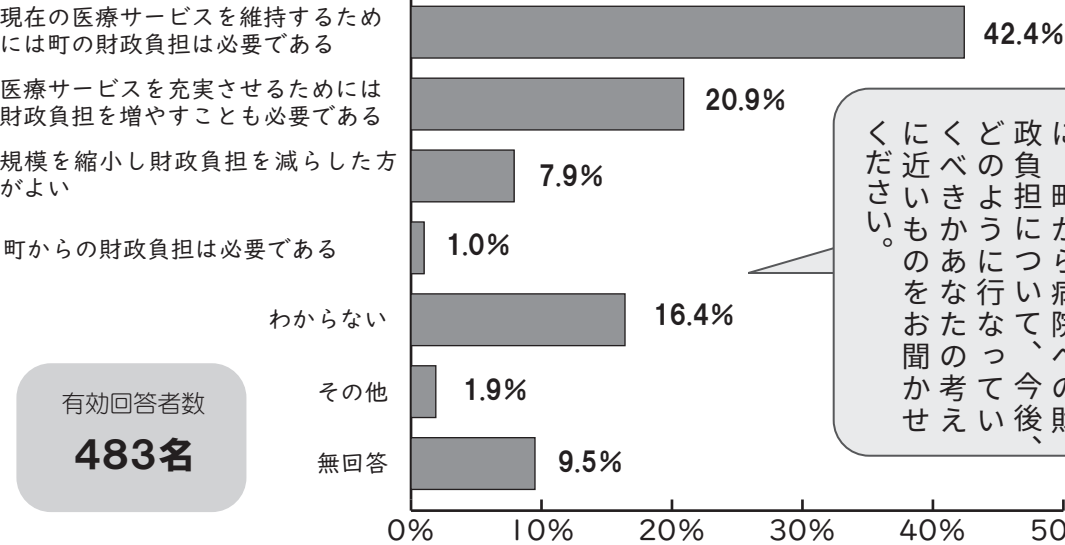
町民意識調査 ① 「繰入金についての考え」

今年2月から3月にかけて、無作為に選んだ800人の町民の皆様を対象に「町民意識調査」を実施しました。前回に引き続き、その結果をお伝えします。お忙しいなか、本調査にご協力をいただきました皆様に、紙面を通して厚く御礼申し上げます。

さて、病院運営では、患者様のニーズに合わせた診療科を設け、日々医療サービスに取り組んでいます。この医療サービスの維持と、質を低下させないためにも、一般会計からの繰入金は必要となっています。

下記の表は、町一般会計から繰出す「4億5千万」について町民の方々がどう考えているかについての調査結果です。「医療サービスを維持するため、または、充実させるためには財政負担は必要である」と回答された方は6割を超えていることがわかります。

また、「規模を縮小し財政負担を減らした方がよい」と考えている方も1割未満いることがわかりました。



Q. 町では、最上病院に毎年4億5千万円前後の運営資金を繰入れています。病院の医療サービスと照らした際、に、町から病院への財政負担について、今後、どのような行なっているのかあなたの考えに近しいものをお聞かせください。